早期体験学習発表会について

2020年度　早期体験学習発表会　概要

１．概要

　オンラインで実施することとなった早期体験学習発表会を、できるだけ活性化して、興味を持って参加してもらえるように、発表会の形式を日本薬学会年会などの学術大会と同じくパラレルセッションにしたり、AIによる座長などを用意したりします。

２．発表会の形式

　発表は、パラレルセッションのポスター発表形式とします。セッションは、「薬剤師関連施設」、「病院薬局」、「保険薬局」、「一次救命処置」、「マナー」、「総合」の６つとします。セッションごとにバーチャル会場を用意して、ポスターを展示します。また、発表要旨も閲覧できるようにしますので、ポスターと発表要旨の２つを各自作成してください。

３．セッションの選択

　発表者がセッションを自由に選んで良いこととします。セッションに沿った内容の発表をしてください。例えば、「病院薬局」のセッションでも、部分的に「マナー」の話題が入ってもよいです。全ての内容をまんべんなく含む場合には、「総合」を選んでください。

・各セッション会場

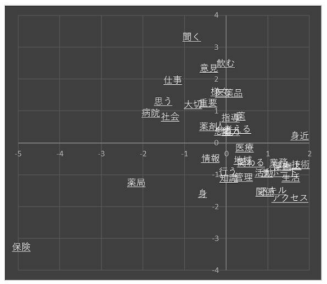
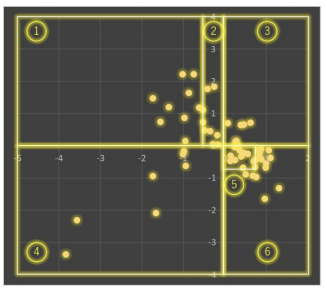
セッション会場にはポスターが展示されています。また、AI座長がセッションの内容や皆様の評価の概要などをリアルタイムに解説します。

SS1：薬剤師関連施設	SS2：病院薬局	SS3：調剤薬局
SS4：一次救命処置	SS5：マナー	SS6：総合

４．AIによる座長

　各セッションにAIによる座長を配置します。AI座長は、事前に発表要旨とポスターを機械学習し、さらに、参加者の動向、教員の評価やコメントなどもリアルタイムに機械学習しながら、参加者へ、各セッションの概要を説明したり、参加者個別におすすめする発表を紹介したりします。

・各セッション会場の紹介

AI座長がすべての発表ポスターを機械学習して、セッション会場ごとに類似するポスターが提示されるようにしました。

0:00 / 0:22